

2003年10月5日(日曜日)

みんなにやさしいまちへ

共に生き生きと暮らせる社会づくりを

障害のある人もない人も、共に生き生きと暮らすことができる社会づくりを進めるためには、障害のある人が、普通の生活を送れるような環境を整えていくことが大切です。そして、私たち一人ひとりのちょっとした心がけや思いやりが、障害のある人の社会参加を助けます。



日曜日の昼下がり、太郎さんは、高校時代の友人晶子さんと同窓会の打ち合わせのため、あるショッピングセンターのレストランで待ち合わせをしました。卒業から十年、久しぶりの再会。介助犬のジョンも一緒です。



■ 身障者専用駐車場に止めないで



身障者専用駐車場



やあ、久しぶり！元気だった？



元気だったよ。太郎さんも元気そうね。



うん。ちょっと遅れてごめん。駐車場が空いていなくて……。



あっ、そうか！太郎さん車椅子だから、スペースの広い身障者専用の駐車場じゃないと降りられないわね。



最近多いんだ。一般の人が身障者専用駐車場に車を止めることが……。



でも、必要としている人が使用できないのは、おかしいんじゃない。一人ひとりがマナーを守らないと。



せっかく僕たちが外に出かける環境が整っても、利用できないのではね……。



私も気を付けるわ。一般の人が身障者専用駐車場に止めようとしているのを見かけたら、一声かけてみる。



ありがとう。そんな人が増えてくれるといいんだけど。

■ 補助犬の同伴を拒否できません



ドアを開ける介助犬



ところで、その犬はどうしたの？



介助犬なんだ。名前はジョン。僕は手足が不自由だから、僕の代わりにドアの開け閉めや、物を運んだり、物を落としたときなんかは、拾ってくれるんだよ。ジョンがいるから、日常生活も大丈夫。



すごい犬なのね。でも、介助犬を飲食店に入れても大丈夫なの？



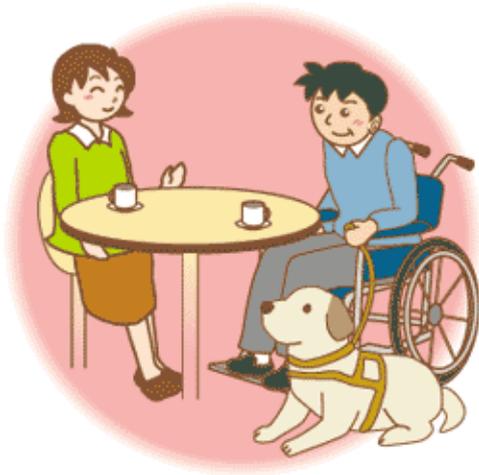
え！知らないの？十月から、喫茶店やレストランなどの飲食店やデパート、そしてホテルなどの不特定多数の人たちが利用する民間施設に、介助犬を自由に連れて入れるんだよ。お店の人は入店を断れないって「身体障害者補助犬法」で定められているんだよ。



全然知らなかった。介助犬だけなの？



いいや、目の不自由な人を安全に誘導する盲導犬、耳の不自由な人にノックやブザーの音を知らせる聴導犬もだよ。介助犬や盲導犬、聴導犬を総称して「身体障害者補助犬」というんだ。目や耳、体の不自由な人たちの自立や社会参加をサポートしてくれる犬たちなんだよ。県内に、盲導犬が五頭、介助犬が一頭いるんだ。今福井県で、介助犬を一頭育成しているみたいだよ。



そうなんだ。でも、吠えたり、噛みついたりしないの？



訓練を受けているから、大丈夫だよ。ほら、きちんとおとなしく座っているだろ。



うん、でもなんとなく衛生の面から、不安なんだけど・・・。



それも大丈夫。毎日手入れをして清潔にしているよ。それに、健康診断や予防接種もきちんと受けているよ。これは、僕たち飼い主の義務なんだ。



知らなかったわ。私たちが、補助犬のことをもっと知らないといけないわね。そして、いろいろな人に話すようにするわね。



ありがとう。そうそう今日は同窓会の打ち合わせだよ。それでは本題に・・・。(省略)

■ 障害者ITサポートセンター



パソコン操作を体験



それじゃ今日はこれぐらいで・・・。



今日、打ち合わせた内容をまとめて、メールで送るよ。



太郎さん、メールできるの？



実は、今、福井市にある県社会福祉センター内の「障害者ITサポートセンター」でパソコンの操作を体験しているんだ。大型のキーボードなど入力を助けてくれる器具やソフトがいろいろあるんだよ。目の不自由な人は、画面の文字を読み上げるソフトや、打ち込んだ文字を読み上げるソフトを使うんだ。



そうだったの。インターネットやメールを使って、情報を入手・発信してコミュニケーションができると、いろいろな人と出会えるから世界が広がるよね。



自宅でできるように、今サポートセンターの相談員やパソコンに詳しいボランティアの人と相談しているところなんだ。障害に応じて自分に合ったものを選ぶ必要があるからね。中古のパソコンを無償で貸してくれるし、必要なソフトや周辺機器の購入には、県の補助制度があるしね。



家で困ったときなんかどうするの？



そんなときは、パソコンボランティアの人が来てくれるんだよ。晶子さんもパソコンに詳しいから、ボランティアやってみない？ボランティアの養成講座もあるから。



チャレンジしてみようかな？。太郎さん、早く自宅でメールができる環境が整うといいわね。



うん。ぼくも待ち遠しいんだ。メールができるようになったらすぐに送るね。



太郎さんのメール楽しみに待っているわ。今日はありがとう。

《 障害者ITサポートセンター 「パソコン相談・体験コーナー」開設 》

福井県障害者社会参加推進センターでは、目や耳、体の不自由な方が気軽にパソコン操作を体験できるように、障害者ITサポートセンターを開設しています。パソコン入力をサポートする器具や入力支援ソフトの紹介など、さまざまな相談にも対応します。

開放日時

毎週 月・火・木・金曜日／
午前10時～正午、午後1時～午後4時
第1土曜日／午後1時～午後4時(要予約)
第2・4金曜日／午後6時30分～午後8時(要予約)

場 所

福井市光陽2-3-22
福井県社会福祉センター1F

問い合わせ先

福井県障害者社会参加推進センター
TEL／0776-27-1632 FAX／0776-25-0267

《 障害者向けIT機器購入の 助成制度について 》

県では、目や手、腕が不自由な方がパソコンを使用する際に、どうしても必要となる画面を音声化するアプリケーションソフトや、大型キーボードなどの入力支援機器の購入費を助成します。

1. 対象者 身体障害者手帳1級および2級の視覚障害者および上肢障害者
2. 対象品目 視覚障害者用ワープロソフト・画面拡大ソフト・音声化ソフト、大型キーボード、ジョイスティックなど
3. 助成額 機器等の購入に要した費用の2/3以内の額。10万円を限度(所得制限あり)

申し込み・問い合わせ先

県障害福祉課
TEL/0776-20-0339 FAX/0776-20-0639
または市町村障害福祉担当課

記事に関するお問合せは、**県障害福祉課 ☎0776-20-0339** までどうぞ

 **BACK**